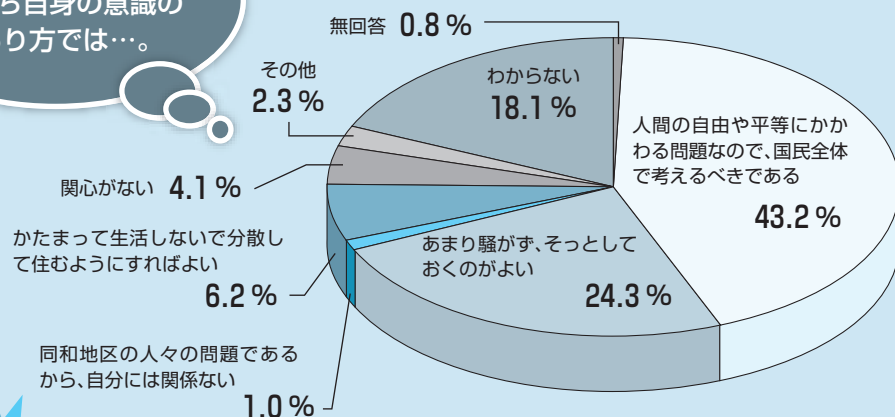


8月は佐賀県同和問題啓発強調月間です

日本社会の歴史的過程において作られた身分階層構造。これによって始まった差別は、今もなお残っています。同和地区に生まれたということだけで、日常生活のさまざまな面でいわれなき差別を受け、悩み苦しんでいる人々がいるのです。

本来、私たち一人ひとりの誰もが保障されている「基本的人権」が侵害されている、深刻で重大な社会問題なのです。

■平成20年度
多久市人権・同和問題に関する市民意識調査



いわゆる「寝た子を起こすな」という考えや「自分には関係ない」という考えでは、いつまでたっても差別はなくなりません。

差別を残しているのは
私たち自身の意識の
あり方では…。

私たち一人ひとりが、誤った認識や偏見などに惑わされず、同和問題について正しく認識し、差別に気づき、差別を許さない心を持つことが必要です。

また、自分には関係ないという考え方が、差別を温存・助長することにもなりかねません。同和問題のみに限らず、さまざまな人権問題を解決するためには、自分が差別する人間にならないだけでなく、自分自身の問題としてとらえ、きちんと向き合っていくことが大切です。



平成23年度同和問題啓発ポスター